

タイ6期松生敏子（まついけとしこ）
国際交流基金“日本語パートナーズ”

第14回派遣報告 「年賀状」

2018年12月

日本の文化紹介で、時候の挨拶を説明し、年賀状を書きました。タイでは四季がないので、「おはよう」の後、「ご飯を食べましたか」「どこに行きますか」と聞かれることが多いです。

日本でも携帯電話の普及で、電話やメールで済ませてしまい、年賀状を書く人が少なくなっています。私も何枚か、見本に年賀状をタイに持参しましたが、10年前のものでした。

タイのハガキは2パーツです。日本へのエアメールは、はがきの大きさによりますが、12パーツから15パーツです。ハガキを書いたことがない生徒が、たくさんいました。良い機会なので年賀の挨拶を、生徒は全員、父母・祖父母に送りました。

日本に送った生徒もいます。卒業生が、今、日本のお茶の水大学に留学しています。年賀状の返事を、日本からもらえることになっています。

十二支で来年はイノシシというと、力作を書いてきました。人気があるのは富士山でした。松竹梅、門松の説明もすると、きれいに書いていました。

高校3年生

高校1年生



高校2年生

